

提 案 概 要

(北九州市立藍島保育所 指定管理者)

団体名： 一般財団法人 北九州市母子寡婦福祉会

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針

北九州市母子寡婦福祉会は、母子家庭等の平和と生活の安定・子どもの健やかな成長のために、お互いに手を取り合い、支え合い励まし合って、「我が幸せは我が手で」をモットーに、自立自助と共生の活動を続けている。

2017年告示の保育所保育指針に発達過程の最も初期に当たる幼児期には、

①「生命の保持及び情緒の安定」②「養護と教育の一体性を強く意識する」

とあり、養護的な働きかけや環境づくりが特に重要であると考えている。

この2点は島民の子ども達にも重要である。養護には「保育者が一人ひとりの子どもの心の基地になる」ということを前提にし「生命の保持・情緒の安定・教育保育」をめざしていく。

保護者と保育士とで連携して子どもの育ちを支え、地域との交流を大切に、島の豊かな自然を活かした豊かな感性を育てる。

(2) 安定的な人的基盤や財政基盤

人的基盤は、当団体の構成員の中には、保育士、社会福祉主事、教員、公認会計士、栄養士、調理師やヘルパー等多岐に亘る有資格者が居り人材は豊富である。母子家庭等日常生活支援事業に会員登録している子育て支援員は30名で保育士免許所持者がいる。

現在の藍島保育所職員を継続雇用し、さらに経験豊かな元保育所長を施設長として配置する。

財政基盤は、正味財産として、指定正味財産(基本財産)300万円、一般正味財産8,421万円、合計の正味財産は8,721万円を有する。

(3) 実績や経験など

平成23年度より8年間、藍島保育所の指定管理を受託し、保育を要する児童に対し適切な保護と、児童の福祉の増進を図ることを目的に藍島保育所の保育事業を継続している。

また、平成16年11月より子育て支援施設「ころころ」を運営。国の事業である「ひとり親家庭等日常生活支援事業」を北九州市から委託している。

昭和50年10月から平成22年3月までは、家庭保育員事業を受託し実施していた。

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み

(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み

保育施設は幼児教育の重要な役割を担う施設であり、子どもの最善の利益のための保育を行う。

子どもの家庭の状況、地域性等を鑑みながら、藍島保育所の独自性をもって、より質の高い保育の展開に努める。島の豊かな自然を活かし、養護及び教育を一体的に行い、特性を出すと共に、生命の保持及び情緒の安定等を日々の生活の中で総合的に取り組む。

児童の福祉の増進を図ることを目的に発達過程と指導計画に基づいた保育をする

<p>(2) 利用者の満足度</p>
<p>保育の状況を日々伝え、子どもの成長に合わせた保育を保護者と連携しながら実施する。 保護者等との意見交換やアンケートを実施し、利用者の意向を把握し協議改善に努める。 保育所で発生した苦情は、苦情解決事務処理要綱により、受付担当者、解決責任者及び中立・公平性を確保するための第三者委員と共に解決に努める。 藍島保育所で発行の「園だより」(毎月1回発行)発行の他、行政等からの情報を随時提供。 安心できる保育環境、安全確保の取り組み、保育所の資質向上の研修を実施。</p>
<p>【効率性】に関する取組み</p>
<p>(1) 指定管理業務に係る経費</p>
<p>「へき地保育施設要綱」に規定されるへき地保育所の児童に対し適切な保護を行い、もって児童の福祉の増進を図るため、必要な経費を確保し、経済的かつ効率的な執行を行う。 経費の7割以上が人件費であるが、北九州市立保育園の保育士報酬を鑑みて、保育士の経験や通勤が不可能なへき地勤務等の条件を考慮して支出計画を立てている。 また、へき地で生じる情報の格差をなくすため、インターネットや携帯電話等の通信機器を整備する為の事業費を支出計画した。</p>
<p>(2) 経費の低減や収入の増加に向けた創意工夫</p>
<p>子どもの保育に関する経費低減は質の低下となるが、光熱水費はこまめな点消灯や子どもにも水の流しっぱなしをしない手洗いや食器洗いの指導を行うなど、保育指導の中での経費節減を努める。島では野菜の調達が難しいので、園庭の畑で育てた野菜を収穫して給食の食材にする等の工夫をする。また、島の自然を利用した行事を行う工夫をする。軽微な修繕等で、再委託が効率的な場合は、複数の見積もりを徴し、適正な価格で発注し節減を図る。</p>
<p>【適正性】に関する取組み</p>
<p>(1) 管理運営体制など</p>
<p>安全確保に重点を置き、施設の整備と運営を行う。組織として、元保育所園長を施設長に配置し、現地の保育責任者と共に責任を持って保育し、現地の保育補助員を配置する。当財団の理事長及び職員が運営管理や会計を担いその他、解決困難な諸問題が発生した際は、行政及び関係機関の協力を得て解決にあたる。</p>
<p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p>
<p>人権研修を実施し、人権尊重を基本に異年齢児童保育の中で平等利用の根本を守るよう、保育士を含め、当法人の職員・管理者に細心の注意を払うよう徹底し、公正な業務運営を行う。 また、当法人では、個人情報保護のために「個人情報管理規定」を設けて、個人情報保護法を遵守し、守秘義務を守り、苦情解決第三者委員も配置している。 危機管理体制や安全対策のため、藍島保育所の安全管理マニュアルを作成し、災害時等の対応に対しては、定期的に避難訓練を実施するなど、園児の安全を図っている。 健康に関しては、提携医療機関に依頼し、嘱託医の配置と定期健診を実施する。 施設賠償保険や傷害保険に加入し、保育所や園児の保障を確保する。</p>

提案額（千円）

3 1 年度	1 1, 5 1 1 千円
3 2 年度	1 1, 5 1 1 千円
3 3 年度	1 1, 5 1 1 千円
3 4 年度	1 1, 5 1 1 千円
3 5 年度	1 1, 5 1 1 千円

※提案概要は、提案書の内容を2枚程度（A4）にまとめてください。